



▶ 平成31年2月 予算特別委員会 ▶ 平成31年2月 会派代表質疑

チャレンジ都市神戸 ～IT 起業家との官民連携～ について

神戸市では、地域・行政課題を解決するアイデアやノウハウを持つスタートアップと市の職員が協同でその解決手法を生み出し、ビジネス展開を目指す官民一体型新ビジネス「アーバンイノベーション神戸」を本格実施し、いくつかの課題で実証実験を行い成果を得ました。

- ・ 開発したタブレットツールで、来庁した市民への案内時間を半減
 - ・ 医療費助成に関するレセプトのエラー確認作業では、手作業で行っていた業務の4割を自動化
- 公共の場を活用した「官民共創の仕組みづくり」を加速すべきであると質疑しました。



▶ スタートアップの開発したタブレットアプリ

元号改元における対応について

来たる5月1日、約200年ぶりとなる、あらかじめ期日が定まった天皇陛下の退位が行われ元号が改元されます。システム改修や市民への周知を含めた対応について質疑しました。

市政130周年を迎える神戸市が大きく飛躍する年として期待し、平成31年度神戸市各会計予算案及び関連議案合計59議案について、要望16件を付して承認しました。



要望事項の一例

- ・ 重度心身障がい児・者の家庭への災害時非常用電源確保に取り組むこと。
- ・ 保育所入所を希望する際、出産月によって生じる機会不平等を起こさないように努めること。
- ・ 市営住宅における福祉・介護車両の無料専用駐車場の整備を積極的に進めること。

★ 毎月末 市政報告会を開催しています。
電話・メール等でご予約いただき、ぜひご参加ください。

討議資料

いさやま大介事務所 〒657-0816 神戸市灘区国玉通2-2-8 まどかビル2階東

TEL : 070-1930-2368 FAX : 078-271-3707 mail:info@isayama-daisuke.jp

いさやま大介



プロフィール

教員の両親から生まれる。
神戸大学発達科学部を卒業。
中学から大学までは水泳部のキャプテン。(現在、神戸市水泳協会副会長)
灘区の松蔭中学と神戸海星中等高等学校で18年間教員を勤める(理科と化学を教える)。
地元少年野球部の元コーチ、地域こども水泳教室の現コーチ。

2015年4月の神戸市会選挙に灘区から出馬し、8,127票を頂き初当選。
経済港湾委員会所属。(平成31年3月現在)
議会活動のかたわら、駅頭活動と週末の地域周りを現在も欠かさず継続中。
教員経験を活かし不登校対策や教員の多忙化対策等、教育全般の環境改善に全力活動中。



発行元 共創・国民民主神戸市会議員団
〒650-8570
神戸市中央区加納町6-5-1 1号館29階
TEL : 078-322-5845
FAX : 078-322-6171

Vol.15

平成31年度当初予算案に対し、会派を代表して質疑しました

ヤミ専従問題に関連する組織風土の改革について

ヤミ専従については、神戸市会で発生した「政務活動費不正流用問題」と等しく納税者の立場から決して許されるものではないことを指摘しました。
退職者を含めて190人近くに処分を出す今回の問題を受けて、徹底した市役所改革を進めていくため、市長部局にも「組織風土改革の有識者会議」が設置されるべきと質疑しました。



▶ 平成31年2月代表質疑

「8050（はちまるごーまる）問題」について

かつて、ひきこもりは若者の問題としてされてきましたが、時間の経過とともに高齢化し、50代の中高年のひきこもりの子を80代の親が面倒を見るケースが増えている社会現象は「8050（はちまるごーまる）問題」と呼称されています。

2016年の内閣府の実態調査では、広義のひきこもりの状態の人が全国54.1万人としましたがあくまで39歳までの数字であります。内閣府は40～59歳を対象にした初の実態調査を行い、全国の推計人数を算出する予定です。

「8050問題」の主な原因である「おとなのひきこもり」対策について質疑しました。